

席を譲ることについて考えます

先日、もみじ狩りに横浜にある三溪園に行ってきました。夜間のライトアップは12年ぶりだそうで、綺麗な日本庭園と色とりどりの紅葉を満喫しました。

帰りにバスに乗って横浜駅に向いました。到着するまでは約35分の予定でしたが、道も混雑しているし、乗客も混雑しているせいもあって、最終的には約45分かかりました。バスの前方には優先席が多く配置されていますが、当日は観光客が大勢いで先に乗車した人たちで全部の席があつという間埋に埋まってしまいました。私があとから乗車してすぐに、少し違和感を覚える光景が目に飛び込んできました。

20代前後の女性が優先席に座って、そのすぐそばに80代前後のおばあさんが、女性が座っている席を両手でしっかりつかんで立っていました。車内では何回もお年寄り、体の不自由な方に席を譲ってくださいというアナウンスが流れていましたが、結局おばあさんはバスに揺られて、うとうとして最後までずっと立っていました。

私の国では、優先席はいうまでもなく、一般席でもお年寄り、体の不自由な方、妊婦さんはもちろんのこと、時には小さい子供にも席を譲るのが当たり前のこととなっていますので、その光景を見て、文化の違いをしみじみ感じました。

ただし、これにも問題があります。というのは、特に小学生、中学生たちは誰に席を譲ればいいのか正しく判断が出来ず、それがゆえに、善意のつもりでも、かえって知らないうちに人を傷つけてしまう、(つまり善意があだになる) ケースもあります。

例えば、私の義理の弟(50代)は白髪が目立っているため、何回も席を譲ってもらったことがあります。いまでもバス、電車に乗る時はいつもびくびくして、誰とも視線を合わせないようにしています。また、妹はある時期、体形が少しふくよかになっただけで妊婦さんと間違われ、席を譲ってもらったことがあります。その場で断わったら、ただのデブと思われますから、お礼を言って座りましたが、すごく傷ついたらと冗談半分、本気半分で文句を言っていました。そして、私の姉(60代)も席を譲られて、すごくショックを受けました。席を譲ってくれた中学生に「なぜ私に席を譲ってくれましたか」と聞いたら、重い荷物もっているからと説明してもらってホットとしたというエピソードもありました。

台湾ではお年寄りを大事にする文化があります。それゆえ、譲ってもらったら大抵の人はお礼を言って座りますけど、日本人は遠慮して、すぐ降りますと言って断るお年寄りの方も少なくないようです。私も何回かそのような経験しましたので、今は目の前にお年寄りの方が

立っていれば、ただ黙って席を立つことにしました。

ちなみに私は義理の弟に

「これから悔しい思いしたくなければ、電車に乗るときに帽子をかぶるか、あるいは、服に「私は見た目よりずっと若い、お願いだから席を譲らないでください」と大きく書いてください」と助言しました。

皆様は席を譲りますか？また、判断の基準は何でしょうか？

これについて日本人の友達に聞いてみましたら、杖をついているかどうか判断の基準だそうです。